

自転車指導啓発重点地区・路線（岡山中央警察署）

重点路線名：市役所筋（北方第一踏切～大供交差点） 約2.1km



選定理由

市役所筋は、岡山県の玄関口である岡山駅に面しており、来県者が、岡山の道路交通情勢をまず目にする路線である。また、特に朝夕の通勤通学時間帯は、歩行者が多い中、自転車利用者も多いため、交通事故が多発している。

同所は高島屋やイオンモール岡山をはじめとした大型商業店舗が軒を連ねるエリアであり、岡山の玄関口の安全な交通環境を構築するためには、自転車利用者対策を強力に推進していく必要があるため。

事故分析結果

- ・物損事故が多発している傾向
- ・人身事故も路線全体で発生
- ・午前中及び夕方の発生が多い
- ・出合頭の衝突事故が多い



令和6年中 自転車事故の発生状況													
	0~2時	2~4時	4~6時	6~8時	8~10時	10~12時	12~14時	14~16時	16~18時	18~20時	20~22時	22~24時	合計
正面衝突						1	2						0
側面衝突						1	2						3
出合頭衝突				1	1	1			2	1	1		7
接触									1				1
追突													0
その他													0
転倒							1	1		2			4
路外逸脱													0
衝突													0
左折事故						1							1
車対車他						1							1
合計	0	0	0	1	4	4	1	0	5	1	1	0	17

交通事故防止に向けた注意点等

- 交差点での安全確認
- 信号、一時停止の遵守
- 安全に止まれる速度での通行
- 出合頭事故に注意する
- 信号の変わり目に注意
- 急制動時の転倒に注意